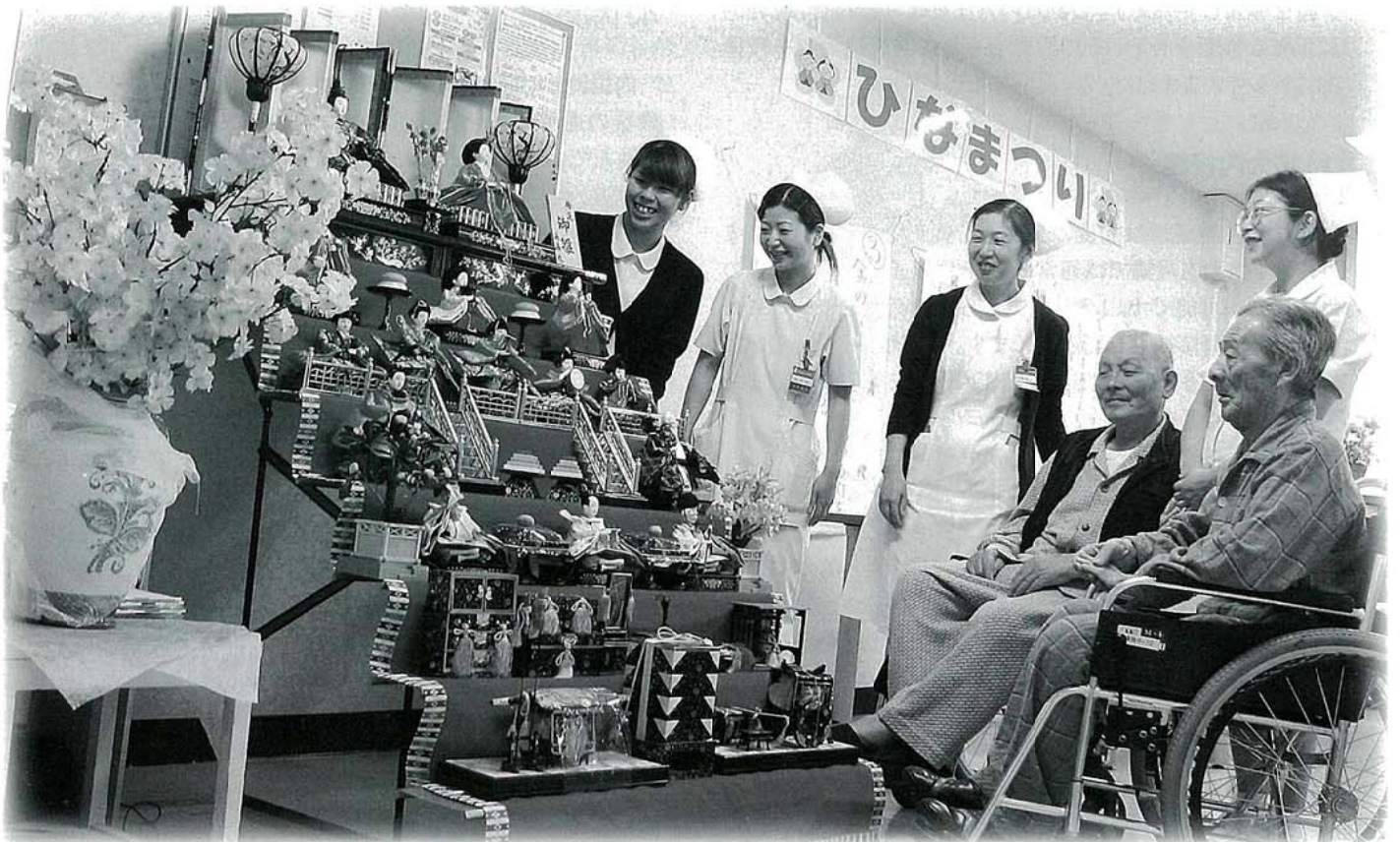


患者のみなさんと病院をつなぐ

かけはし



リハビリ



腎センター



外来問診



食事指導

病院開設の理念

1. 地域住民に信頼される病院
2. 地域医療機関に信頼される病院
3. 職員に信頼される病院



最新の内視鏡検査と内視鏡治療

消化器科 医師 大原 次郎



当院の消化器科では食道・胃・十二指腸・大腸の病気に対し、胃透視などのX線検査と内視鏡検査（いわゆる胃カメラ・大腸カメラ）を組み合わせで診断・治療を行っています。近年、内視鏡の技術革新は著しく、さまざまな機器が考案されています。当院でも従来の内視鏡検査に加え、拡大内視鏡、NBIシステム、超音波内視鏡検査など最新式の内視鏡システムを導入しています。これらの方法を組み合わせ、総合的に正確な診断を行い、その診断をもとに内視鏡治療を積極的に行っています。

1) 拡大内視鏡

従来の内視鏡では病変の全体像を捉えることしかできませんが、拡大内視鏡では通常の80倍程度まで画像を引き伸ばすことが可能です。1ミリ四方ぐらいの範囲をテレビモニターいっぱいに拡大して観察します。すなわち、胃の中を顕微鏡で見るような器械であり、病変の凹凸を細かい部分まで見ることができます。

2) NBIシステム

内視鏡ではグラスファイバーを通じて光を体の中まで送って観察しますが、NBIシステム（narrow band imagingシステム）では特殊な波長の光を使うことにより粘膜の小さな血管の様子を診断することができます。この機能によって従来の内視鏡ではほとんど見えなかった小さな早期がんの診断が正確に行えるようになりました。とくに、咽頭や食道の小さながんの早期発見が容易に行えるようになり、胃や大腸でも新しい診断法の研究が進んでいます。

3) 超音波内視鏡

当院では超音波内視鏡を一昨年から導入しています。内視鏡を通じて超音波を出す細いチューブを使って胃や大腸

の断面を画像で見る器械です。通常の内視鏡では粘膜の表面しか見えませんが、超音波では粘膜の下の情報が画像で得られるため、がんの進行度を正確に判定することができます。また、粘膜の下にかたまりをつくる特殊な腫瘍の診断に威力を発揮します。

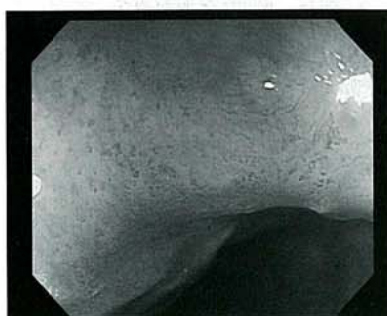
4) 内視鏡治療

内視鏡を用いた治療は、近年の機器の進歩にともない手技的にも進んでいる分野です。とくに胃や食道、大腸の早期がんに対しての内視鏡治療はここ数年で大きく進歩しています。内視鏡治療ではがんの病変部位だけをそぎ落とすのですが、従来の方法では約1センチまでの病変しか切除できませんでした。内視鏡的粘膜下層剥離術という最新の方法では、かなり広い病変（4センチ前後まで）でも切除ができます。この方法では、外科的にお腹を切る必要がないため回復が早く、通常は術後翌日から食事を開始できます。ただし、内視鏡治療ができる病変は早期がんに限られており、ある程度進行したがんには、やはり外科的な手術が必要になります。

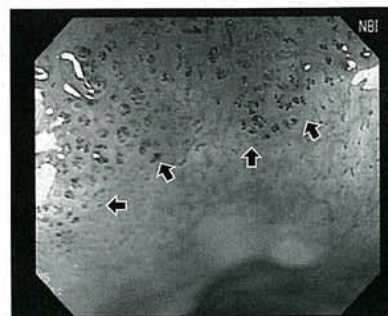


早期発見・早期治療が大事です。

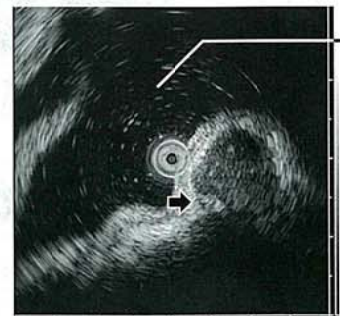
拡大内視鏡、NBIシステム、超音波内視鏡を備え、内視鏡治療が常時行える病院は遠賀・中間地区では当院のみです。内視鏡で治療できるがんは、ほとんど自覚症状がありません。早期発見・早期治療のためには、自覚症状の有無にかかわらず、まずは内視鏡検査を受けることをお勧めします。当院では、苦痛なく検査を受けていただくために鎮静剤を用いて検査を行っています。検査についてご質問などあれば、気軽に消化器科外来へご相談ください。



食道：通常拡大内視鏡



同部位のNBI拡大内視鏡
画面上部「がん」の境界が明瞭になります



胃：超音波内視鏡像
「→」粘膜下に腫瘍を認めます

胃の内部

花粉症のシーズンです

耳鼻咽喉科 医師 工藤 良忠



花粉症とは、植物の花粉(抗原)が人体内に侵入し、体内に存在する反応物質(抗体)と反応して起きるアレルギー反応で、粘膜や皮膚にいろいろな症状を呈する病気です。花粉の中では、「杉」花粉が代表的で1月末ごろから4月末頃ごろまでにかけて爆発的に発症し、その時期を過ぎると自然に衰退します。耳鼻科領域では「くしゃみ」「水様性鼻汁」「鼻閉」が三大症状で、時には「のどのイガイガ感」「咳」「かすれ声」「顔や頸部皮膚のかゆみ」等も合併します。また、眼科領域の「眼のかゆみ」「流涙」の併発も珍しくはありません。その他の植物では「檜」「松」「かや」「ぶた草」「ヨモギ」等がよく知られていますが、杉花粉ほどの顕著な流行は見られず、通常花粉症と呼ばれるのは、「杉」と、それに引続いて発症する「檜」の花粉症を指します。

鼻 アレルギー症状は昔から指摘されていましたが、杉花粉症の歴史は比較的新しく、栃木県の日光市の杉



並木周辺の住民に鼻アレルギー症状が春に多発的に流行するのを調査、研究していたグループの報告が最初とされています。植物花粉によるアレルギー疾患は昔からいろいろな病名で報告されていますが、杉花粉の場合、第二次世界大戦中ごろから杉の植林が奨励され、戦後の山野の荒廃と木材利用の不況とが重なり、花芽をたくさん付けるようになった20年~30年経つ杉の木が手入れ不十分のまま放置されていたのが主因といわれています。

花粉症増悪の要因として、花粉が人体内に侵入することだけではなく、鉱工業の煤煙や車の排気ガス等を

主とする大気汚染も相乗作用として指摘されています。このことは杉花粉症の発症が花粉量の最も多い山林近辺の居住者よりも花粉が風に運ばれて届く範囲の市街地の住民に多発していることの原因になると思います。

治療はシーズン中に抗アレルギー剤の内服薬と点鼻薬の使用が主流ですが、鼻閉症状が高度の場合に限り、



レーザー照射や手術による症状軽減方法が施行されています。内服薬の副作用として、眠気や倦怠感を伴うことが多く、即効性の強い薬ほどその頻度が高いといわれています。個人差もありますが、使用者の生活様式により即効性のものを使用するかマイルドな薬を連用する

かを主治医と相談して選択することが必要です。近年、マイルドな抗アレルギー剤を杉飛散シーズンの1~2週間前ごろから予防的に服用することで、発症を軽度に抑える方法が推奨されています。杉花粉の飛散状態は杉の花芽の付く時期である前年の夏期の平均気温と日照時間に相関するといわれています。3~4年間隔で多発するとされていますが、今年は例年に比べ多い年に当たると予測されています。

最後に、花粉症に用いられる抗アレルギー剤はぜん息やじん麻疹、湿疹、皮膚炎等の疾病にも普遍的に用いられる薬品です。服用に際しては、内科、皮膚科、眼科などで薬を使用している場合、同効薬品使用の有無を確認する必要がありますので、ご注意ください。

NST(栄養サポートチーム)活動

管理栄養士 光田美代子

入院中の食事は治療の一環であり楽しみの一つです。楽しみながら三度の食事で病気が良くなるのが一番良いのですが、慣れない入院生活や病気による発熱や痛み、病状に対する不安や退院後の生活、精神的な原因による食意不振、飲み込む機能が衰えていて食べられない機能障害等、様々な原因で栄養状態が不良になっていることもあります。NST活動は、医師を中心に看護師、管理栄養士、薬剤師、検査技師、リハビリ、放射線技師がそれぞれの立場から患者さんの栄養状態の改善のために知恵を出し合う活動です。当院では、看護記録から発熱の有無、食事摂取状況、薬の種類、排泄、カルテからは検査データ等を参考に栄養不良の原因を探り出します。そうした中で、食形態の変更、投薬の変更、新たな検査項目の追加等が提案され次の委員会でも再評価を行っています。患者さんからの「食べられるようになりましした」「熱が下がりがり、リハビリ頑張っています」等の言葉がNST活動の支えとなっています。多くの患者さんが一日でも早く回復されるよう今後も積極的なNST活動を続けて行きます。



町立芦屋中央病院外来診療担当表

平成21年3月1日現在

| 診療科 | 時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------|----------|------------|--------------------------|-------------------------------------|---------------|-----------------|------------------------|
| 消化器科 | 午前 | 櫻井 | 青見 | 大原 | 青見 | 櫻井 | 消化器科、内科医師で交替 (午前のみ) |
| | 午後 | | 櫻井 | | 青見 | | |
| 内科 | 午前 | 呼吸器科 西尾 | 呼吸器科 西尾 | | 呼吸器科 西尾 | 呼吸器科 西尾 | |
| | | 加来 | 加来 | 加来 | 別府 | 加来 | |
| | | | 循環器科 村岡 | 循環器科 木谷 | | 循環器科 村岡 | |
| | 糖尿病 森 | | 糖尿病 森田 | | | 糖尿病 岡田 | |
| 午後 | 是此田 | 別府 | 循環器科 木谷 神経内科 西尾 | 加来 | 是此田 | | |
| 小児科 | 午前 | 落合 | 住江 | 大賀(第1のみ) 馬場(第2・3・5) 大久保(第4のみ) | 中本 | 大久保 馬場(第4のみ) | |
| 泌尿器科 | 午前 | 井上 | 井上 | 井上 | 井上 | 井上 | 井上 第2・4は休診 |
| | 午後 | 井上 女性専用 | 井上 | | | | |
| 整形外科 | 9:00~ | 野々村 | 内藤 | 内藤 野々村 | 野々村 | 内藤 | 2人で交替 |
| | 10:30~ | 内藤 | | | | 野々村 | |
| | 午後 | | 内藤 | | 野々村 | | |
| 外科 | 午前 | 井下 | 永渕 | 2人で交替 | 井下 | 永渕 | 2人で交替 |
| | 午後 | 永渕 | 2人で交替 | | 井下 | | |
| 眼科 | 午前 | 田中 | 田中 | 手術日 | 田中 | 田中 | 田中 第2・4は休診 |
| | 午後 | 予約検査 | 田中 | | 第2・4は 予約検査 | 予約検査 | |
| 耳鼻咽喉科 | 午前 | 工藤 | 工藤 | | 工藤 | 工藤 | |
| | 午後 | 工藤 | 工藤 | | 工藤 | 工藤 | |
| 腎外来 | 午前 | 中俣 | 中俣 | 中俣 | 新患のみ 中俣 | | 新患のみ 中俣 |
| C T・超音波 | | 小坂 | 小坂 | 小坂 | 小坂 | 小坂 | 小坂 |

受付時間 **午前** [月曜日～金曜日] 11:00まで [土曜日] 10:00まで **午後** 13:00～16:00

♪ 灯りをつけましょ ほんぼりに
お花をあげましょ 桃の花 ♪
表紙の写真は介護療養型病棟(4病棟)に飾った「お雛様」です。殺風景な病院の中で、少しでも「季節」を感じていただければと思っています。3月未まで飾っていますので、ご面会の機会がありましたら、お立ち寄りください。(4病棟師長 矢川京子)

町立芦屋中央病院
〒807-0101 福岡県遠賀郡芦屋町幸町8番30号
TEL 093-222-2931(代)
FAX 093-222-2176
e-mail hospi@hosp-ashiya-fukuoka.jp
URL: http://www.ashiya-central-hospital.jp



・JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「芦屋」行きにて「芦屋中央病院前」下車。徒歩1分
・JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋町役場前」下車。徒歩8分